

茨城大学五浦美術文化研究所（以下、研究所）は、2024年秋、天心遺跡を会場に『観月会2024 松田路子展「はるかに広がる青を見る」』を開催いたします。地元笠間市にアトリエを構える現代陶芸作家の松田路子氏をお招きし、六角堂を舞台としたサイト・スペシフィックな作品展示により、五浦からアジア、世界へと発信してまいりたいと存じます。

美術思想家・岡倉天心は、1905年に現在の北茨城市五浦に六角堂を構え、その後日本美術院を移すなど、五浦の地を拠点に日本美術の振興や国際的な活動を展開しました。また、各界の名士を招待した「仲秋観月会」を開催していました。このことを偲び、研究所では、長年にわたって「観月会」の名を冠した展覧会などの多彩な催しを開いています。これまで、震災やコロナ禍の影響により、一時は休止となることがありましたが、今年度で21年目を迎えることになりました。2011年の東日本大震災においては、地震による津波によって、天心遺跡の一つである六角堂が太平洋へ流出いたしました。2012年に再建され、現在では復興のシンボルとも捉えられています。太平洋に面した五浦海岸に立地する天心遺跡に触発された松田氏の作品をご高覧いただけましたら幸いです。

また、本事業は茨城県天心記念五浦美術館（以下、美術館）が主催する「猫を愛でたい」展（天心記念五浦美術館企画展地域連携実行委員会による）との関連事業であり、会期中には作家によるワークショップ『自転車ロクロでねこを作ろう』を美術館講座室で開催いたします。

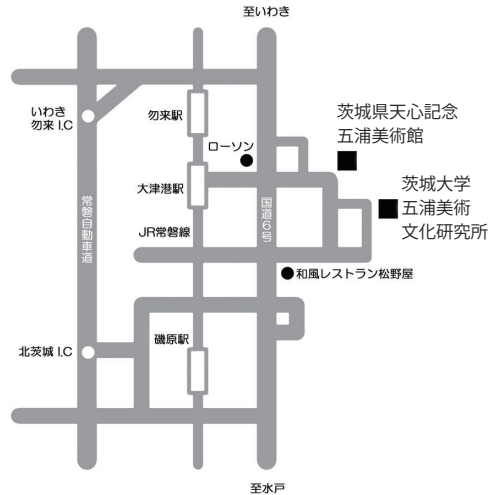
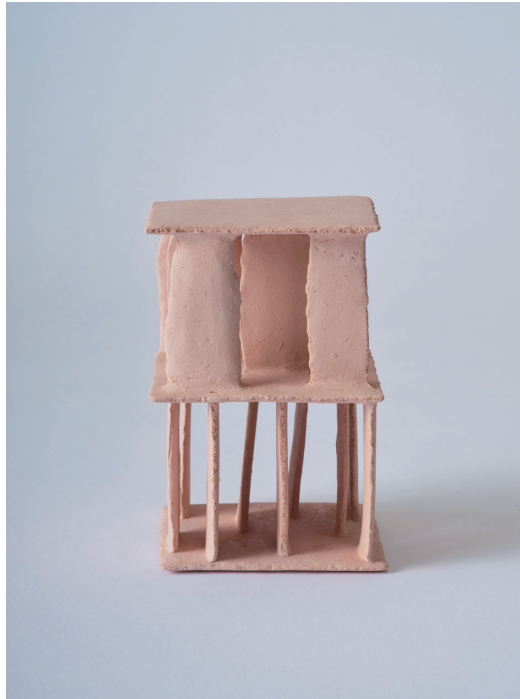
茨城大学五浦美術文化研究所  
所長 片口直樹



松田路子 Michiko Matsuda

1985年 武蔵野美術短期大学専攻科金工科卒業  
1987年 ミュンヘン美術大学留学  
1988年 茨城県笠間市寺本陶房にて修行を始める  
1990年 茨城県立窯業指導所ロクロ科修了  
1991年 同軸業科修了  
銀座煉瓦画廊（東京）、Gallery FACE TO FACE（東京）、Gallery Tanekara（東京）、日本橋高島屋（東京）、Artspace563（台北）における個展、国内外におけるグループ展などで多数発表

## はるかに広がる青を見る



『観月会2024 松田路子展「はるかに広がる青を見る」』の関連企画として、小学生を対象とした親子参加型の陶芸ワークショップを開催いたします。親子による「自転車ロクロ」体験と、『猫を愛でたい』展（茨城県天心記念五浦美術館）にちなんだ塑造による「ねこ」作品の制作です。作家の松田さんと一緒に、制作を通して芸術の秋を味わってみませんか？

## 松田路子のワークショップ



## 「自転車ロクロでねこを作ろう」



申し込み・お問い合わせ先  
茨城大学 研究・社会連携部 社会連携課  
（平日午前8時30分から午後5時15分まで）  
E-mail：6kakudo@ml.ibaraki.ac.jp  
TEL：029-228-8425 / FAX：029-228-8495

11/7(木)までに  
こちらからお申込下さい

◆先着順、定員になり次第  
申し込みを締め切らせて  
いただきます



主催 茨城大学五浦美術文化研究所  
協力 茨城県天心記念五浦美術館

2024年 開催会場  
11/9(土) 茨城県天心記念五浦美術館 講座室  
午後1時30分から午後3時まで（受付は開始時間の30分前から）

講師 松田路子氏（笠間市在住）

募集対象 小学生10名程度（ただし、保護者の方の同伴をお願いいたします）

費用 無料（ただし、後日焼成した作品を、参加者の皆様に着払いにてお届けする予定です）

持物 手拭き用タオル、汚れてもよい服装（またはエプロンなど）

〈茨城県天心記念五浦美術館 企画展のご案内〉

「猫を愛でたい」2024年10月26日(土)～12月8日(日)  
「幻視する風景－藤田志朗の世界」

2024年12月14日(土)～2025年2月11日(火・祝)  
茨城県天心記念五浦美術館 TEL.0293-46-5311